

8 がっひかりごう

令和3年8月1日 輝保育園

夏本番を感じるこの頃、プールや水遊びと楽しい活動に取り組み、4才、5才の子ども達は、鼓隊や旗にも挑戦しています。先日、プール活動中のばら組さんの部屋の前を通ると、机の上に洋服がきちんと畳まれて置いてありました。1年前、Tシャツの前後の理解、洋服の管理に取り組み、苦闘しながらも頑張る姿が思い出され1年の成長を感じました。例年、熱中症のニュースが増える時期ですので、保育園でも水分補給や休憩など、一層注意して過ごしていきます。

【水 の 事 故】

自宅で、水遊びやプール遊びをしたり、レジャー施設のプールなどに行く機会も多い季節です。

乳幼児は10cmの水深でもおぼれます。浮き輪をつけていても溺れる事があります。

水のある場所では、子どもから目を離さず、しっかりと付き添って下さい。



=== ナース・レポート ===

【RSウイルス感染急増 今年の400倍超】

乳幼児に肺炎を起こす恐れがある「RSウイルス感染症」の患者が異例の早さで増加している。

マスク着用や手洗いなどの新型コロナウイルス対策が進んだことで昨年、RSウイルスの流行が抑えられた反動とみられ、専門家は「免疫のない子ども達が今年、一気に感染する可能性がある」と警戒を呼びかけている。

7/13 産経新聞より抜粋

RSウイルスは主に鼻水や発熱、咳の症状がでる呼吸器感染症です。

飛沫や接触による感染です。

一度かかっても十分な免疫が得られず何度も罹患する可能性があります。

大人や2、3才異常の子どもは軽い風邪のような症状で済むことが多いが、生後6か月未満の乳児では重症化しやすく、呼吸困難や肺炎となり、入院管理が必要となる場合も少なくありません。

すみれ、たんぽぽ組はマスク着用が困難であるため、感染拡大を招きやすい状況です。

呼吸器症状(咳など)がある程度落ち着くまで、ご家庭で療養して頂くようお願いいたします。

《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認して下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ スマホに 子守りをさせないで ☆☆

子どもとスマホに係る他の記事です。大事なのは距離と見せる時間です。

スマホはテレビに比べて「見る距離が近い」と指摘しています。

そして目は、遠くのものを見るよりも近くのものを見るほうが、緊張し疲れやすいということです。

このため、「子どもにスマホを見せるときには、30cm以上は離すこと」そして見せる時間は、「テレビも連続で30分程度が目安だと考えています。

スマホの場合は、見る距離が近く画面が小さいので15分程度に抑えたほうが良いと思います」と話していました。

もうひとつ大事なポイントがあります。それは「親がきちんと管理」です。

子どもは大人と違い「目が疲れた」、「ぼやける」といった症状に気が付かないため渡しばなしにせず、必ず親が使う時間やスマホとの距離に気を配ることが大事だということです。

そして、周りが暗いところや、車やベビーカーなど揺れ動いている状況の時には見せないようにしてほしいということです。

また、0才から6才頃までは、目に入った情報が脳に伝わって遠くまで両目でバランスよくものを見たり、ピントを調節したりするといった機能が育つ大切な時期。

だらだらと長時間使わせるのは問題です。

「NHK生活情報ブログ」より抜粋

こ ども の よ う す

たんぽぽぐみ
0才児



日に日に探索活動が活発になり、おもちゃを手にとって積み重ねたり、手から離して床に落ちた時の音を楽しんだりと色々な遊びが展開されています。お尻拭きのケースの蓋を開けて中身を取り出してみたり、棚の中の靴を引っ張り出したり、仕切りの柵を動かして音を出してみたりと、とびきりの笑顔で楽しんでいます。一見、困った行動に見えがちなこれらの行動ですが、興味、好奇心から実際に触って確かめています。ボタンを押すと蓋が開くこと、引っ張ると物が落ちること、柵を動かすと音がすることなど経験の中から学んでいます。それと同時に指先が発達していき、腕や脚の力も強くなっていきます。ハラハラすることもありますが、子どもたちの興味、好奇心を満足いくまで引き出せるように最大限まで見守っています。

たんぽぽぐみ
1才児



7月から水遊びが始まりました。プールは使用せず、タライに水をため、カップやじょうろ、ペットボトルなどの空き容器を使って水遊びをしています。水遊びから始めたことで、水を極端に怖がりたりする子はなく、みんな喜んで準備しています。「水遊びするよ」と声を掛けると、自分でズボンや脱ぎ脱ぎする姿も見られます。また、2才になった子は、水遊び後の体を拭くことも自分でしています。保育者を見ながら、見よう見まねで頑張っています。それを見て、2才前の子たちも真似してやってみようという姿も見られます。自分でやってみようという気持ちを大切に促しています。8月からは、少しずつプール遊びもしていこうと考えています。プール遊びも水遊び同様、それぞれのペースに合わせて楽しんでいきます。

すみれぐみ
2才児



7月からプールが始まり、子どもたちの歓声が響きわたっています。回数を重ねにつれ、ダイナミックに遊ぶ姿が見られるようになりました。プールの準備を通し、衣服の着脱も頑張っています。プールという楽しみがあるため、「出来ない」と言いながらも、積極的に取り組む姿が見られます。難しいところだけを手伝い、子どもたちが、自分で出来た喜びや達成感を感じられるよう関わっています。着脱に関しては、この一ヶ月で、多くの成長が見られます。ご家庭でも、すべてを手伝うのではなく、子どもたちが自分で頑張ろうとしている姿を見守り、出来たことを一緒に喜んで、子どもたちが自信につなげて下さい。子どもたちにとって、家族の応援が一番の力になります。お忙しいとは思いますが、ご協力よろしくお願いします。

ちゅうりっぷぐみ
3才児



プール活動を通して、短時間で着脱できるようになりました。脱いだ衣服を丁寧に畳む姿もあり、後始末も上手になっています。前後の見極め方に関してはもう一歩です。引き続き練習をお願いします。身のまわりの標識に興味をもてるように、「非常口」を話題に取り入れれました。「このマークはどこにある?」と尋ねると「あそこにある!」とすぐに見つけ、「(マークを見ながら)この人は何をしている?」と尋ねると「走ってる」、「泥棒から逃げてる」、「違うよ、ミミズから逃げてるよ」など3才児さんらしい可愛く面白い応えが返ってきました。問いに対して「分からない」ではなく、自分なりに考える姿が多かった事はとても嬉しい成長です。すぐに答えを教えるのではなく、想像したり伝え合ったりする過程を通して、考える力や伝える力を伸ばしていきます。

ばらぐみ
4才児



プール活動では、顔つけが出来ようになる事を目標の一つとしています。「ウー(口を尖らせながら息を吐く)パッ!(息を吐きながら口に水が入ってこないようにする)」を合言葉に、段階を踏みながら夫々のペースで挑みます。最初は躊躇していた子も、周りの楽しそうな姿に意欲が掻き立てられ、「昨日は口だけだったから、今日は鼻も一緒に水面につけてみよう」と、前向きな行動が見られるようになりました。徐々に「先生見て!」、「僕も出来るよ!」、「僕も見せたい!」と自信に変わっています。「できた」という達成感や充実感を与え、努力や学びへの意欲に繋がります。結果だけでなく過程を褒めたり、励ましたり、沢山の自信をつけながら、自己肯定感を高めていけるよう関わっていきます。

ひまわりぐみ
5才児



5月に植えた野菜が枯れてしまい「あんまり水あげてなかったから枯れちゃったね」と残念そうな子どもたちです。収穫した貴重なきゅうりはマヨネーズをつけて「美味しい」、「お代わりしたい」と言いながら喜んで食べましたが、ピーマンは苦手な子が多く、挑戦しても苦手なものは苦手で「苦い」、「ぼくピーマン苦手だからゆっくり食べる」と言いながら食べていました。また、子ども達が楽しみにしているのがプール活動です。子どもによって水の慣れは違いますが、今年はダイナミックに遊ぶ子が目立ちます。体を水にぶかんと浮かせたり、プールの壁を蹴って進んだり、顔を水に少しでも浸けながら前に進もうとしたりとそれぞれが水に親しんでいます。頑張る友だちに刺激を受けながら自分なりに目標をもって取り組んでいます。



= 8月の行事予定 =

- | | |
|--------|----------|
| 6日(金) | 避難訓練 |
| 13日(金) | お盆 |
| 14日(土) | |
| 15日(日) | |
| 20日(金) | 身体測定・誕生会 |